

うしくびっくり!

N031

おくののせん

ぐくじだいのまき

くつじょうと

おくの地区社協
さく いいだあきお

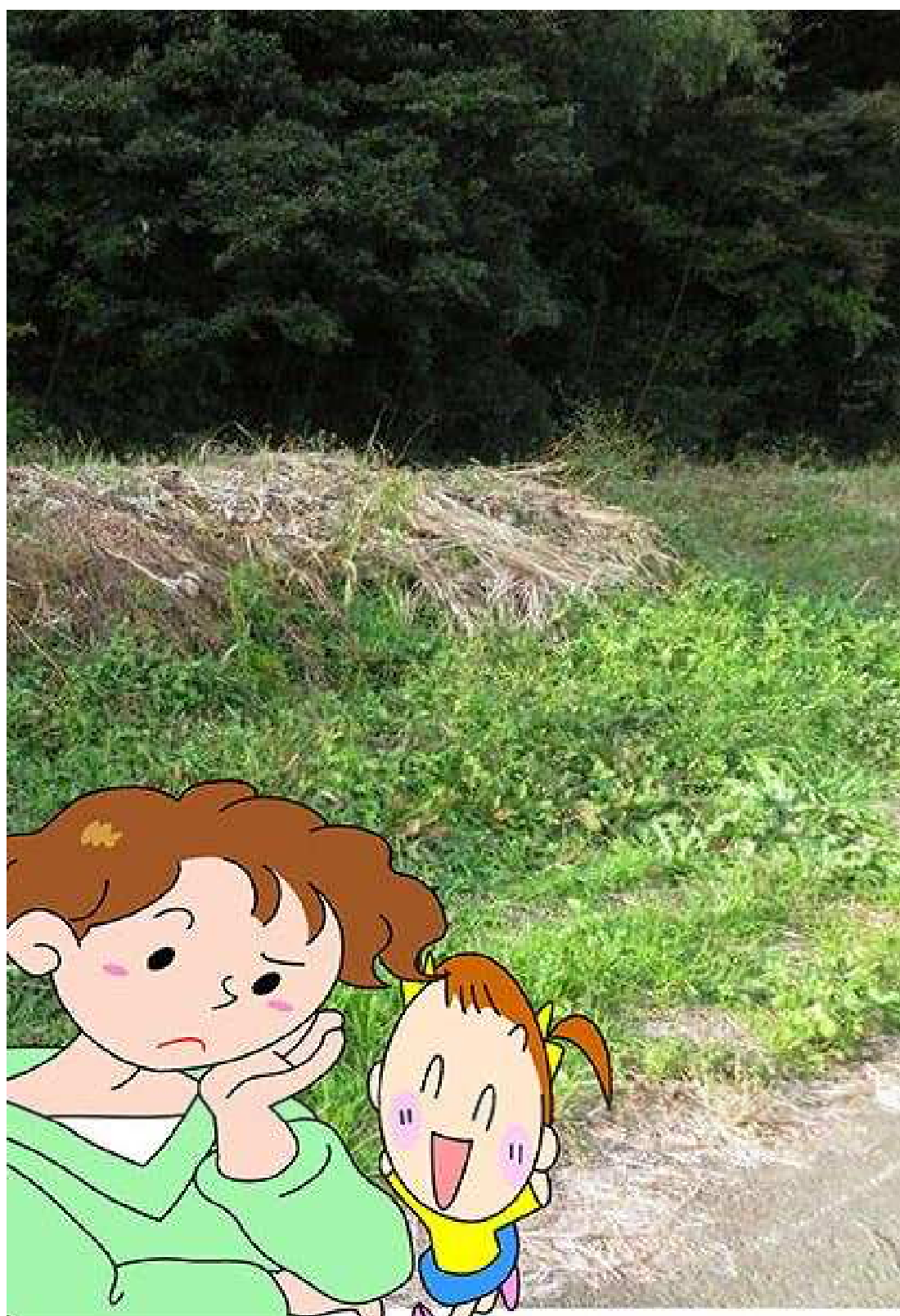
なっちゃんとおかあさんが、**く****の**のこみちをさんぽしている、なっちゃんが、

「どうして、**く****の****じょう**は、なくなっちゃったの？」
と きいてきた。おかあさん、

びっくり！

「ん～、わからないわ。しらべてごらん・・・」

なっちゃんのひとみが、きらつ。

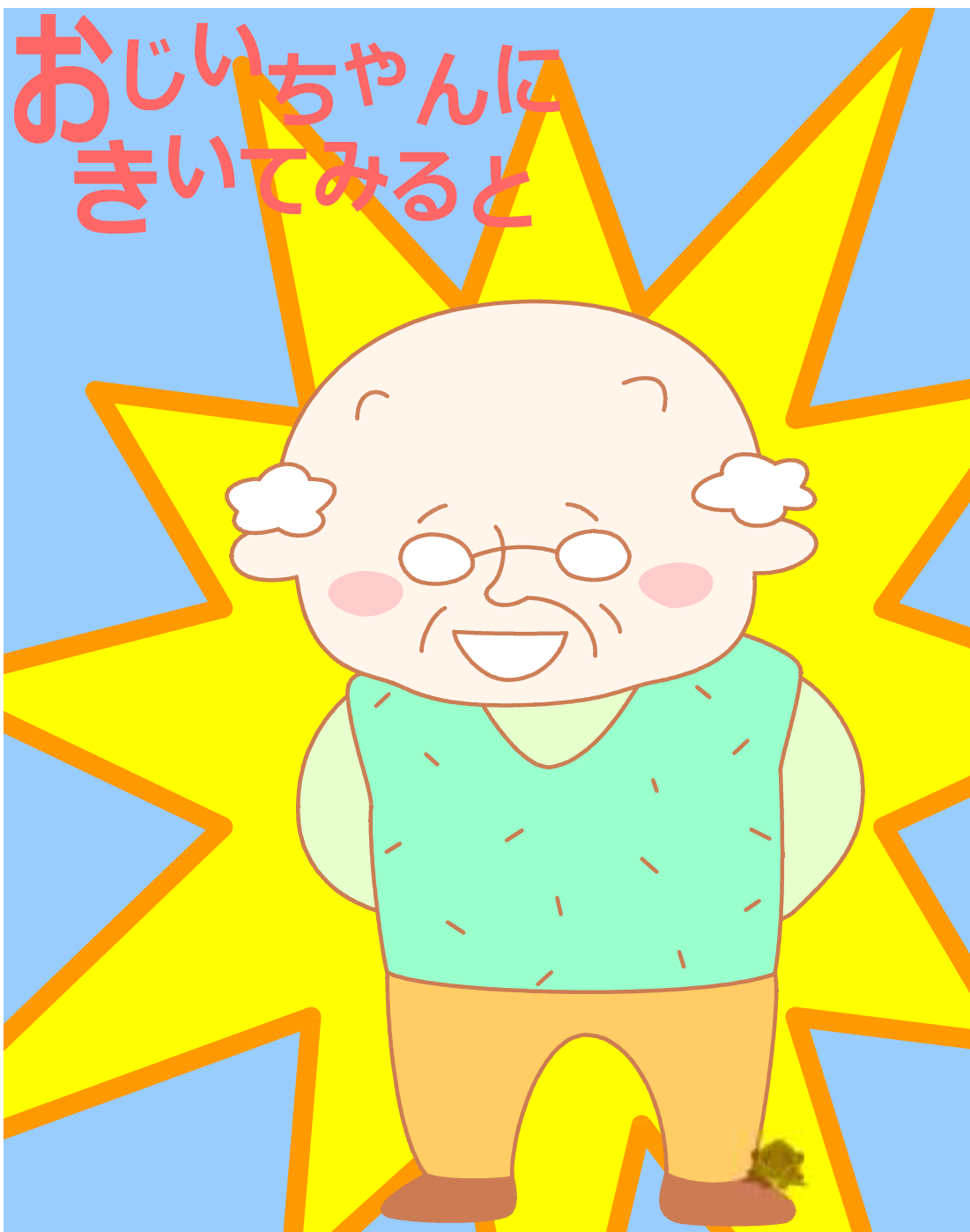


なっちゃん、おじいちゃんに きいてみることにした。ものをよく知っている おじいちゃんが、だーいすき。

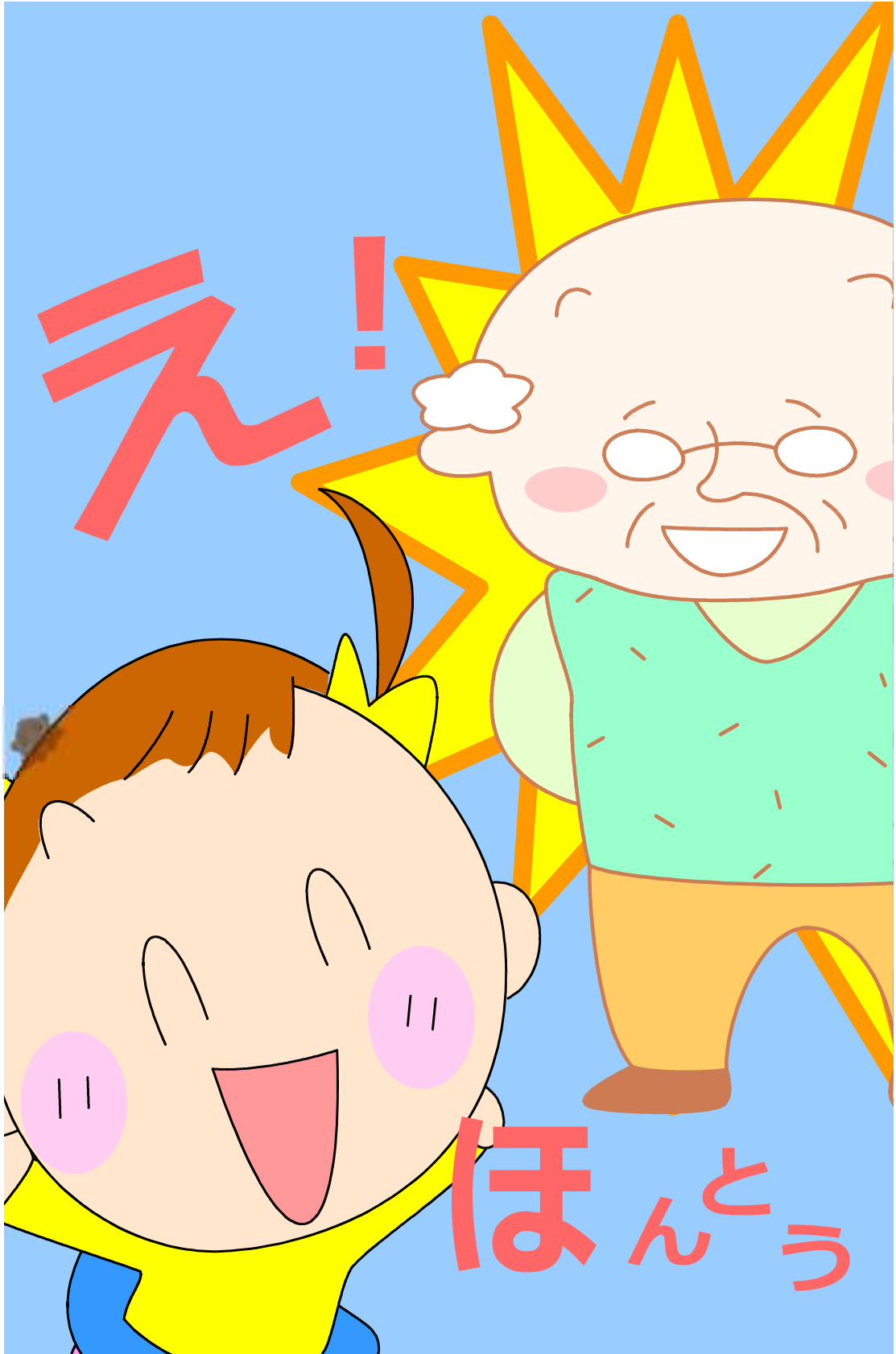
あれあれ、これはおもしろそうと、なぜなぜくんが、もりからあそびにきたよ。どこかな？



わたしは、なぜなぜで一す。

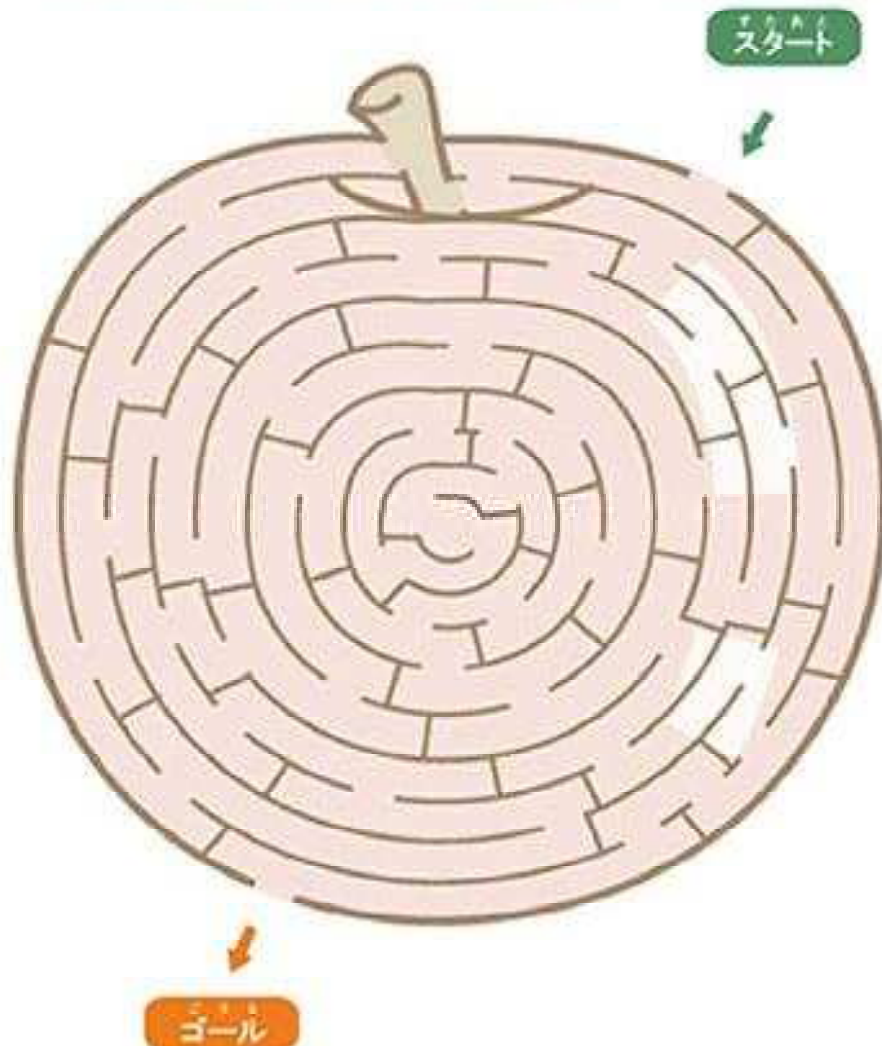


「んー、わからないなー。でもね。くのをよくしっているけんさんにきいてみるか」



つぎのひ、おじいちゃんといっしょに **けんさん**のおうちにむかった。

けんさんのおうちにいけるかな？



けんさんのおうち

おうちにつくと、さっそく
なっちゃん、けんさんにきい
てみた。



「じゃー、はなしてあげよう
ね。せんごくじだいに えど
さきじょうをまもるための
おしろが、くのじょうだった
んだ」

「え、えどさきじょう？わか
らない！」

「そうか。じゃー、くのじょ
うと おさかにあるおさかじ
ょうから おくののせんごく
じだいはなしをしようね」
まずは、おさかじょうだ。

おさかじょうは、小田氏からわかれた岡見氏が、1523 ねんに土岐氏にたいこうするためにつくったおしろだ。小田家風紀に「おさかじょうのとのさまは、岡見備中守。1 万石の小田一族大名」とあるんだ（いまのおかねで1 おくえんをうみだすときとちりょうみんをあたえられたということ）

けらいは、120き（120にんのうまにのったぶし）」だったそうだ。

※ 1きには、3にんから 8にんのけらいがいたので、ぜんぶで、やく600にんくらいのけらいがいたらしい。



そして「1548 ねんには、^{と き し}土岐氏のた
すけをうけた^{とう じょう し}東条氏（^{いずみ じょう し}泉城主）が、お
さかじょうを



わー
わー



せめてきたんだ。おさかじょうしゅ^{おか}岡
^{み びつ ちゅう け}見備中守は、^{お だ う じ}小田氏治のたすけをかり
て

がちがち
がちがち



「まけないぞー」
「それいけー」

どっちが、かったとおもう・・・？

おか み びつちゅうかみ お だ うじはる
岡見備中守と小田氏治が、
かったんだ！
「新編常陸国誌より」
やったー

すごい



「つぎのページが、せんごくじだいの
おくのちくの勢力図だ」



なるほど
な



おさかじょうは、^{とさし}土岐氏とのさかいにあっ
た だいじなおしろだったんだ！



そのころ茨城は、佐竹氏・
結城氏・北条氏のおおきなく
にと、小田氏・土岐氏・岡見氏な
どのちいさなくにが、あらそ
っていたんだ。

そこにまず、とうじょうし
たのが、あのゆうめいな上杉
謙信なんだ。謙信は、関東管領

(ばくふ なんばー2の ようしょく) として、
1560 ねんころは、このあた
りをまとめていたんだ。



(「歴史トラベル」より引用)



謙信のみかただった小田氏が、北条氏についたので、1564ねん・1566ねんに小田氏をせめたんだ。そして、おだじょうが、らくじょうした。



そのご、上杉氏がちからをうしなうと、また、せんごくじだいへ。

1569ねん、^{さ た け し}佐竹氏・^{た が 谷 し}多賀谷氏が
^{お だ し}小田氏をせめた。なんとかもちこたえた
^{お だ し}小田氏。いきおいをとりもどそうと



(「歴史トラベル」より引用)

かたのじょうをせめるために やく
 1000にんのへいをすすめ、手這坂^{て ば い ざ か}
 で^{さ た け し}佐竹氏（^{お だ し}太田氏・^{ま か べ し}真壁氏）と げき
 とつ。

(「歴史トラベル」より引用)



小田氏治は、またまたまけて、ふじさわじょうへ。そして、つちうらじょうにはいった。

そのとき小田氏のぶしょう江戸崎監物が、佐竹氏にねがえり、1574ねんついに小田氏がほろんだんだ。

ここでひとやすみ。

じつはね。この、小田氏治というひと、とてもにんきがあるんだよ。どうしてか わかるかな？



なんと「^{せん ごく さい じゃく}戦国最弱の^{ぶ しやう}武将」としてゆうめいなんだよ。いっせつにはおだじょうは、9かいもらくじょうしているらしいんだ。

しかし、そのあと、なんども、うばいかえしたので「^{ひ た ち}常陸の^{ふ し ちやう}不死鳥」とも、いわれて、にんきがあるんだ。

びっくり！

たとえば、^{う え す ぎ け ん し ん}上杉謙信にまけたときも、^{さ た け し}佐竹氏の^おないふんをみて、すぐに^おだじょうをと리카えしたんだ。

びっくり！

でも^{う え す ぎ け ん し ん}なんで、^{に い が た}上杉謙信は、とおく(新潟)から、ここにきて、たたかったの？

それはね。まず、^{けんしん}謙信が^{かんとうかんれい}関東管領（ばくふなんばー2のようしょく）になったこと。そして、はじめは、^{おだし}小田氏は、^{けんしん}謙信のみかただったんだ。

ところが、そのあと^{ほうじょうし}北条氏のみかたになったんだ。

おこった^{けんしん}謙信は、^{おだじょう}おだじょうをこうげきし、あ！というまに^{らくじょう}らくじょうさせたんだよ。

「そんなことがあったのか」

びっくり！



でも、2かいめにせめてきたときは^{おだし}小田氏は、^{おだじょう}おだじょうをまもった。しかし、かつろをみいだすために^{かたのじょう}かたのじょうをめざして、しんぐん。

^{てばいざか}手這坂のたたかいで^{さたけし}佐竹氏（^{おおたし}太田氏・^{まかべし}真壁氏）にまたまけて、これをさいごに、^{おだじょう}おだじょうをうしなうことになっ

たんだ。

もとにもどって・・・。

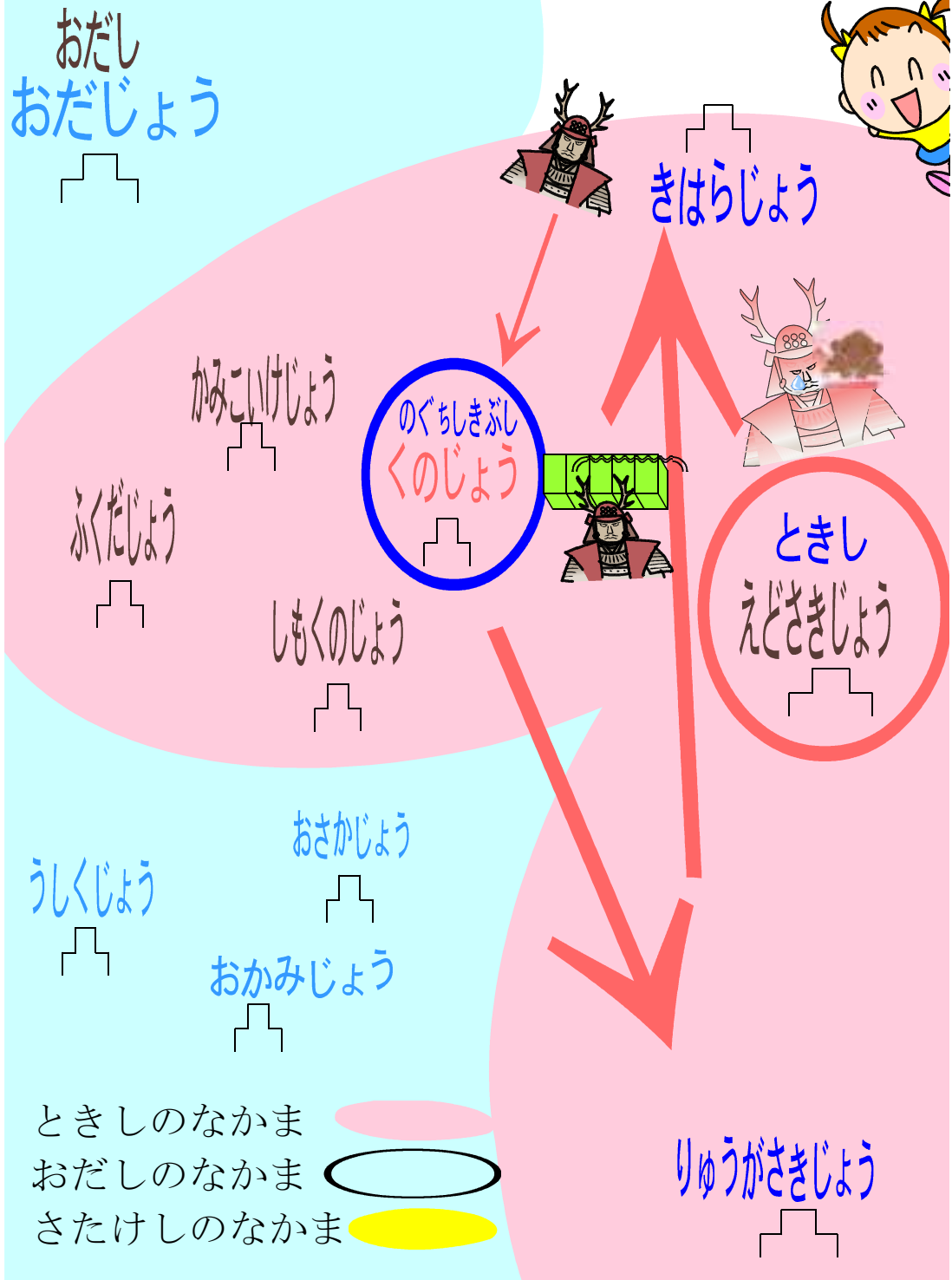
そのご、^{え ど さき けん もつ}江戸崎監物は、きはらじょうをおとすために あるけいかくをたてたんだ。それが、きはらじょうとりゅうがさきじょうのあいだにあるくのじょうをおとす

ぶんだん
けいかく

たぶん？！



ぶんだん (分断) けいかく さたけし

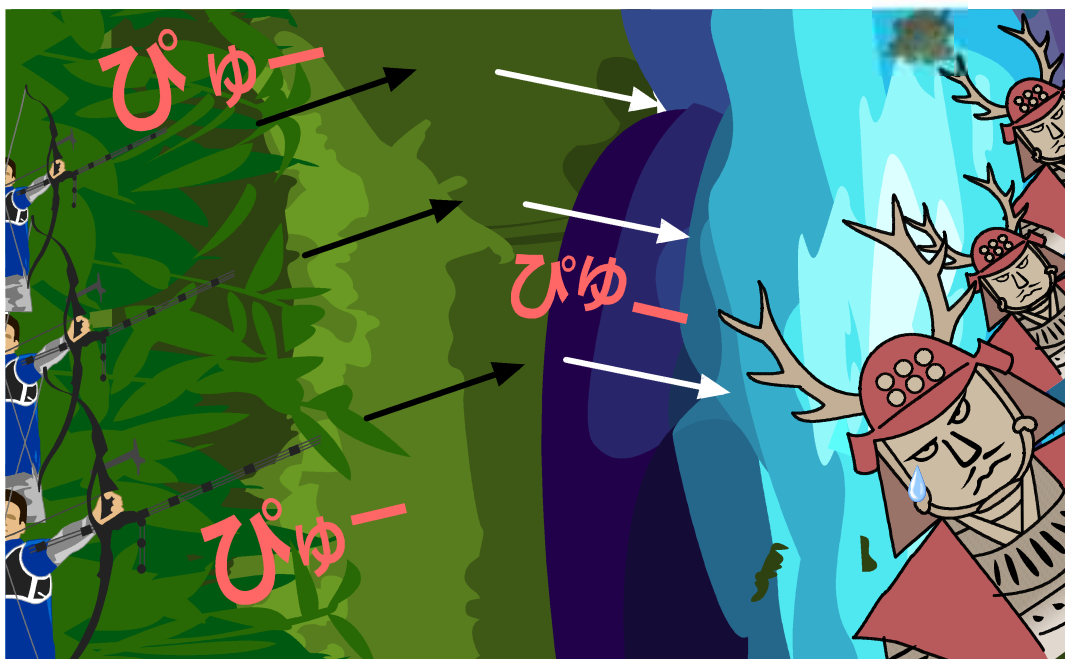


いざ、しゅつじんだ。

そのころ、**くのじょう**のとのさまは、
と き し **土岐氏**のけらいの**の ぐち し き ぶ** **野口式部**。

あるひのこと。とつぜん**さ た け し** **佐竹氏**にね
がえった**お た し** **小田氏**のけらい**え ど さ き けん も つ** **江戸崎監物**に
せめられた。ひっしにたたかった。

びっくり！



「それで、どうなったの？」

「ん～、**くのじょう**は、よくもちこたえたんじゃ。それには、ひみつがあったんだ。じつはね、**くのじょう**は、くふうをこらした おしろだったんだよ」

「え～、どんなくふうがあったの？」

「ん～、いいしつもんだね。

まず、①1のくるわの「**どるい**」②みなみのほりは、かぎのように**まがったほり**（ぐち虎口）③にしに2つの**ほりきり**④**どばし**が、あったんだ」



東

しっちたい
(ときどきみずにおおわれるひくいとち)

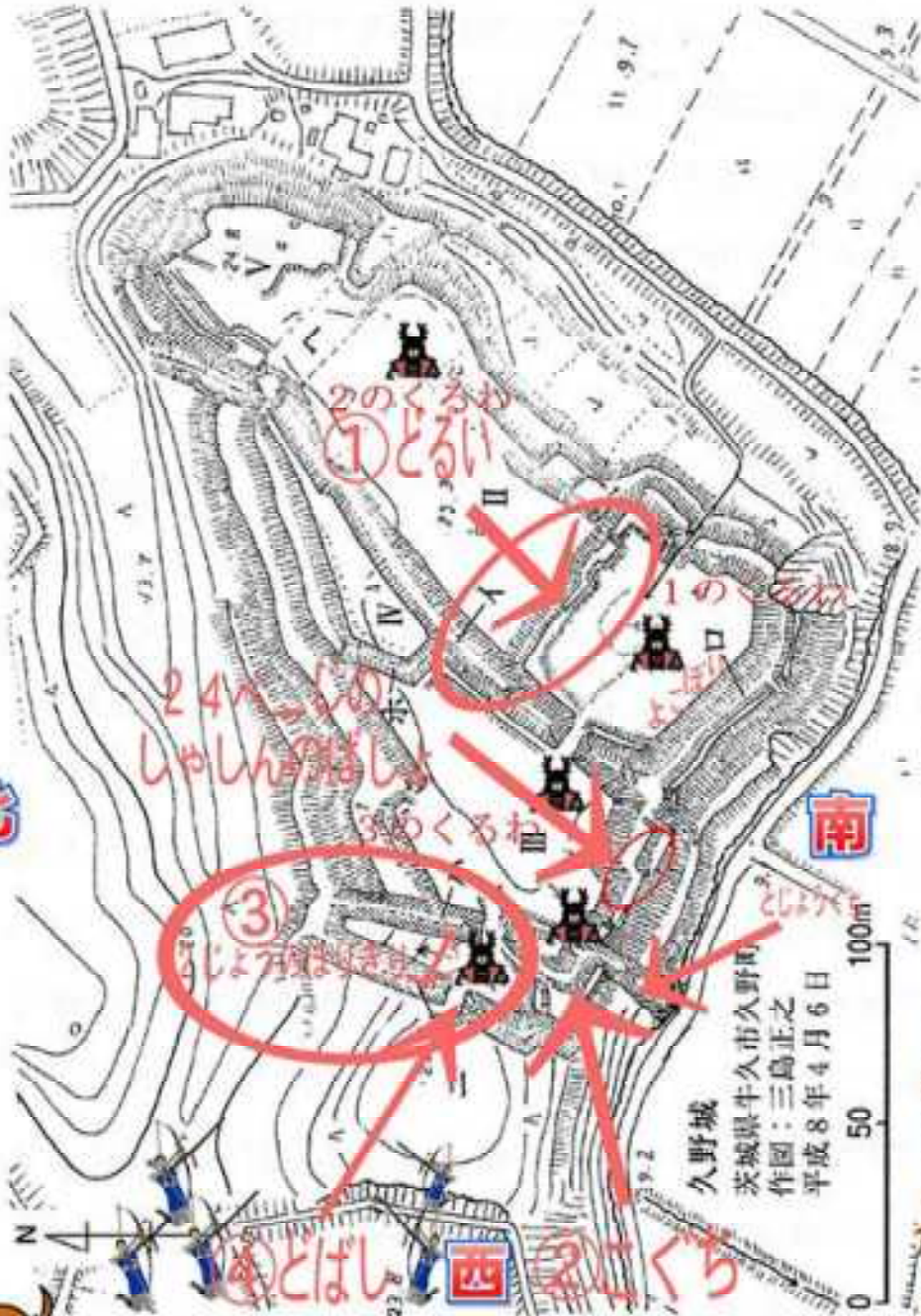


図8-21 久野城

第六節 牛久市の城館跡



さんこう うしくしし こだいちゅうせい

参考「牛久市史 古代中世」より

おとがわわきのたんぼ

そして、みなみは、たんぼ。
ひがしは、しっち（しめったひくい
とち）。てきが、せめてくるの
は、だいちつづきのにしがわ
かきたがわだ！。



しかし、きゅうにせめてきたてきは、やく500にん。まもるみかたは、やく100にん。まもりのかたいくのじょうも ついにおちてしまった。

このたたかいで野口式部^{のぐちしきぶ}が、ごぼうばたけで、うちじに。なくなったんだ。



それをかわきりに、^{え ど さき けん もつ}江戸崎監物は、
りゅうがさきのおしろをしたがえ、
^{きはら じょう}きはらじょうをめざしたんだ。

^{きはら じょう}きはらじょうは、^{と き し}土岐氏のしじょ
うで、1 5 6 2ねんころ^{こん どう し}近藤氏によ
ってつくられた。1 5 7 3ねんに^さ佐
^{た け し}竹氏が、^{お た か た}小田方の^{と ざ き じょう}とざきじょうをお
とすと、まもりをかためるために、
おおきなおしろにしたんだ。^{ほ う じょう し}北条氏
のたすけがあつたらしい。そして、
^{え ど さき けん もつ}江戸崎監物が^{きはら じょう}きはらじょうをおとし
^{さ た け し}佐竹氏のおしろとなった。(じつはね。き

^{きはら じょう}はらじょうは、3かい^{らく じょう}落城してるんだ。
でもね。たたかったあとがないらしい。

とびっくり!
どうしてかな?
おもったら

ありやありやありや・・・

ときし
土岐氏が



ちからをもらかえしてきた!

すると

江戸崎監物^{えどさきけんもつ}は、きはらじょうをうばわれ、あみのじょうじょうじょうにのがれた。しかし、せめられて、じがいしてはてたんじゃ。

いくさとは、はかないな

それから1578ねんころ、佐竹氏^{さたけし}が北条氏^{ほうじょうし}とたいりつ。



このころおさかじょうは、岡見氏と土岐氏が、ともに北条氏に、みかたするようになっていたので、あらそいは、なかった。しかし、

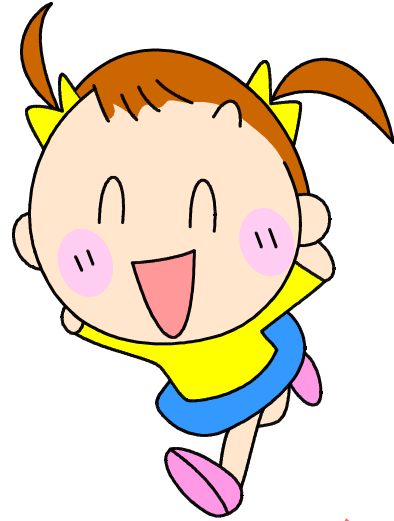
「1584ねん6がつ13にち。佐竹氏が、しろをせめ、とのさま（岡見備中守）は、せっぷく。しろは、ほのおにつつまれなくなったんだ」（小田城始末記より）

おさかじょうは、1523ねんから1584ねんのあいだのやく61ねんかんにわたって、せんごくのよをいきぬいたんじや。

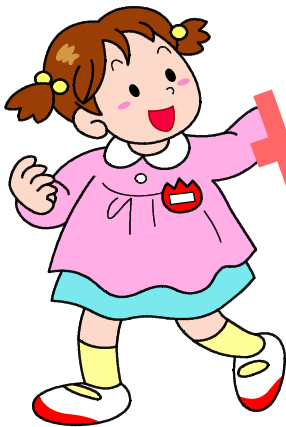
こうして、1590ねんに、北条氏がほろび、それにもなって土岐氏・岡見氏が、ほろび、佐竹氏が、ほぼ茨城を統一したんだよ。

そして、豊臣秀吉・徳川家康のよとなっていたんじや。

あー



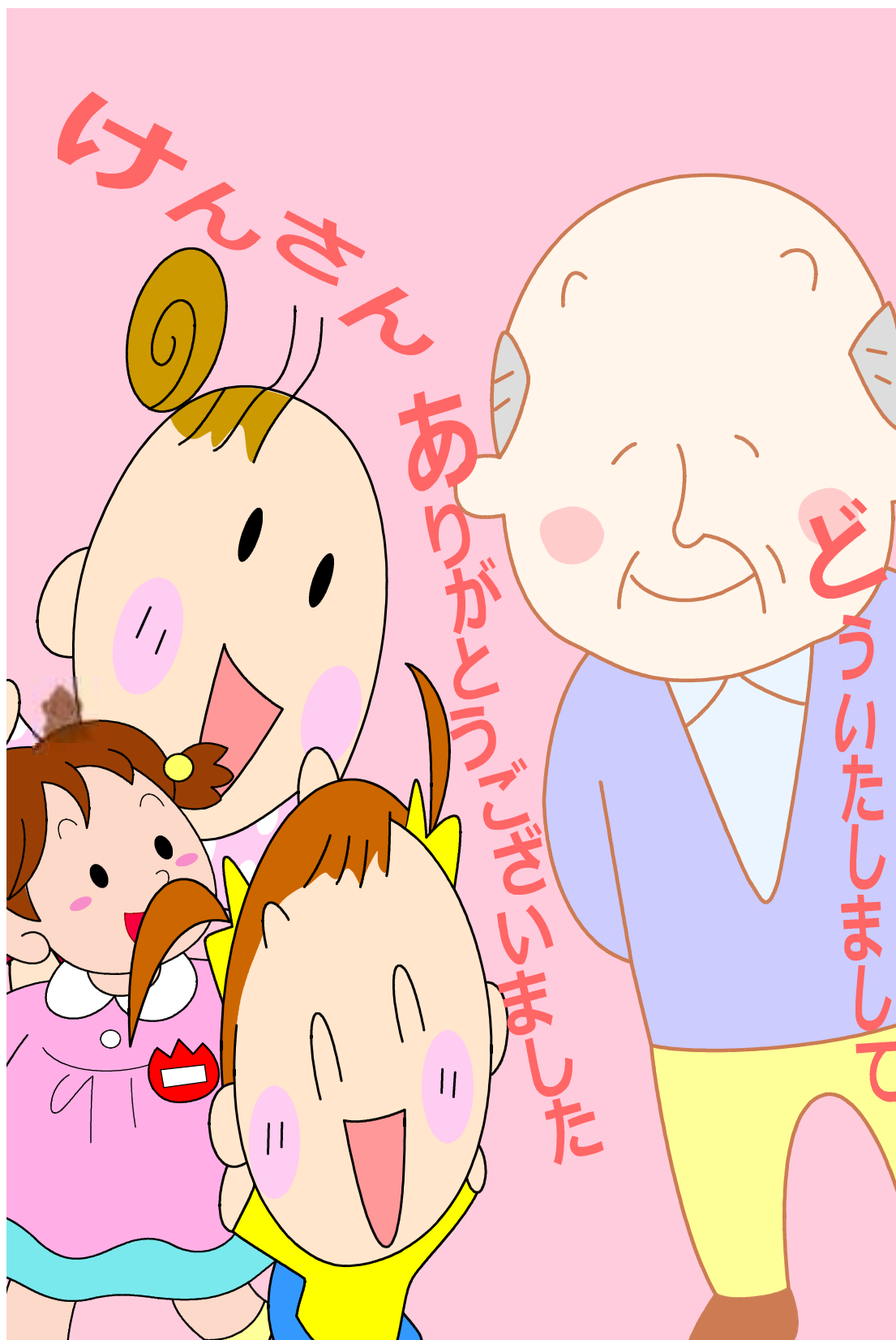
おくのの



せんごくじだい



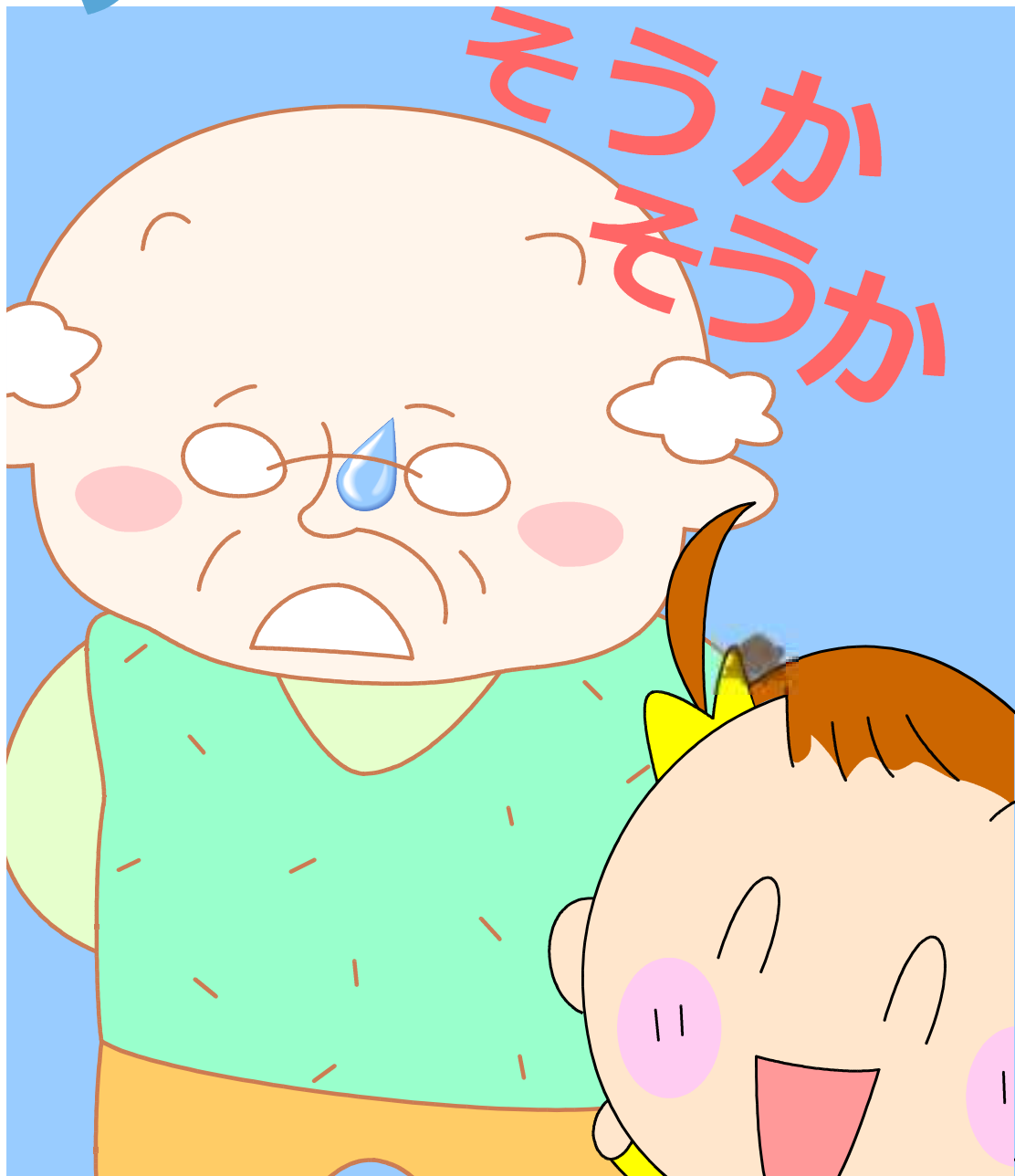
おもしろかった



さんにんは、むかえに
きたおかあさんと かえ
っていった。

なっちゃんは、そのよ
る、おじいちゃんに せ
んごくじだいの^{いばら}茨城^きのこ
とや^くの^{じょう}・^{おさ}か
^{じょう}のことをおしえて
あげたよ。

すると



「よーく、しらべたね」

えらい えらい

と めになみだをうかべて、よろこんでくれた。

なっちゃん、おもわず、にっこり。

こうして、なっちゃんは、
おくののせんごくじだいを
しって、おさかじょうとく
のじょうが、とってもたい
せつな おしろだということ
がよーくわかった。

そして、^{の　ぐち　しき　ぶ}野口式部（くのじょう）と^{お　だ　う　じ　は　る}小田氏治・^{お　か　み　び　つ　ち　ゆう　の　か　み}岡見備中守（おさかじょう）の3にん^{う　え　す　ぎ　け　ん　し　ん}の^{ほ　う　じ　よう　し}との^{さ　た　け　し}さまは、上杉謙信・北条氏・佐竹氏といった強敵にはさまれながらも、ひっしにいきた^{ぶ　し　よう}武将だったことが、よーくわかった。

やっぱり、2つのおしろは、おくのの^{た　か　ら　も　の}たからものだということが、よーくわかった。

さて、こんどは、なにを
しらべようかな？

あれあれ？「すごーくたのしかった」と　なぜなぜくん。つぎのひみつをもとめてスキップしながら　かえっていった。

またね